

■■知っておこう、コミケット『会場法度』■■

とにかく会場いっぱいに参加者がひしめくコミケットでは、独特のルールが存在する。特にコミケットに初めて参加するビギナーにとっては、『どうして?』というようなものもあるかもしれないが、少しづつガマンや工夫を数十万人の参加者の人数分積み上げることでコミケットは初めて運営可能になるのだということは理解してほしい。たとえビギナーであっても、誰かに迷惑をかけてしまったら『知らなかった』では済まされない事もある。コミケットにおける環境ルールを知っておこう。

■ヘッドホン・携帯ゲーム機等『ながら歩行』致スベカラズ

お気に入りの曲を楽しみながらの本探し、会場中の同士との通信に端末に落とし込んだ配置図の検索、どれもやっている本人にとっては結構なものだが、コミケットの会場内を歩きながらはやめて頂きたい。

自分だけはちゃんと注意を払っているつもりでも、注意力は絶対に低下している。ぶつかった拍子に端末を落として壊し、泣きを見ないためにもそこは素直に認めよう。座って待機列に並んでいる間は良いが、入場したらヘッドホンや端末は歩きながら使わないこと。

ちなみに、『ヘッドホンは視界を妨がないから問題ないんじゃない?』と思うかもしれないが、逆に無自覚のうちに周囲に対して無関心になりやすい上に、スタッフの指示や館内放送を聞き逃して混乱の原因になる可能性が大きい。他者に対しての無関心があらゆる事故やトラブルに繋がる会場内とは、五感（使えるなら六感でもそれ以上でも）をフル活用する必要がある場所なのだ。



■傘ハ持ち込メドモ使用致スベカラズ

当日朝から雨だった場合や入場待機列や購入待ち行列に並んでいる最中に雨が降り出した場合、あなたはどするだろうか? 『もちろん傘をさすよ』と答えたアナタ、残念ながらその答えは誤りだ。

待機列は参加者に高密度に並んでもらうことで少しでも行列を圧縮し、入場や購入にかかる時間を短縮する努力が払われている。そこで傘をさすとどうなるか想像してみよう。

ほんの少し身動きしただけで傘の骨の先は周囲の参加者の顔や頭に突き当たるし、傘を流れ落ちた雨水も全て周囲の参加者とその持ち物に降り注ぐ。おまけに1人の占有する面積が増える分、列が膨張しより遠くまで並ばねばならなくなる（＝入場に時間がかかる）ことになるわと**実に大迷惑だ**。個人の僅かな利益（**なにしろ傘をさしても結局はかなり濡れるのだ**）のために周囲の参加者と列に並ぶ全参加者に不利益を及ぼすなど論外。したがって、コミケットでは傘の使用は家から会場到着前まで。会場近辺の駅から先はもう使用しないものだとしておこう。そのためにも傘はバッグにしまえる折りたたみ傘にし、会場では傘なしでも雨に耐えられるようにレインウェアを用意・着用するのがセオリーだ。

傘や日傘が無いと雨や日射しに耐えられない、という方はそれで他の参加者に迷惑をかけるくらいなら、入場待機列や販売待機列に並ぶことをスッパリ諦めるのがフェアというものだろう。

ちなみに、例えばゴスロリなどの『服に合わせて日傘をさしたい』というコーディネートとしての日傘なら、それはコスプレ小道具の範疇、つまりは**30センチ以上の長物小道具禁止のルールに抵触するのでご用心を**。

■会場内『つぶやき』自重ノコト

今や少なからぬコミケット参加者が日々つぶやきを重ねているだろうtwitter（ツイッター）。しかし、普通に携帯の電波でさえろくに入らない会場内で多くの参加者がつぶやきを発信しようとするればそれだけ**一般のメールや電話が圧迫されて繋がりにくくなる**。その上つぶやきの発信や受信のために繋がらない状態で送受信や電波の探知を繰り返す携帯端末のバッテリー消耗も激しくなり、まったくもって誰にとっても得にならないのだ。リアルタイム性こそtwitterの身上であり、その楽しさは重々承知の上で、コミケット会場内とその近隣では起動・使用を控えるようお願いしたい。

■無闇ニ撮影致スベカラズ

携帯電話の内蔵カメラでも十分な画質の写真が撮影できるようになり、またWeb上での画像公開がポピュラーになるに従って急増している撮影がらみのトラブル。**盗撮は犯罪行為だ**ということを知らない人はまずいないだろうが、では盗撮の定義となると、『スカートの中をこっそり撮ることじゃないの?』といった漠然とした捉え方しかしていないのではないだろうか?

本来は撮影されることを了解していない写真は盗撮となる。会場内や自分のサークルスペースなどでスナッ